

千葉県銚子市訪問

2014.9.10



■今回の銚子訪問のキーマンは、この人・銚子観光大使の福村安純さん(写真右)。銚子を知り尽くした福村大使の案内で、銚子を駆け巡る有意義で充実した一日でした。



■主な訪問先をご紹介します



銚子市役所で、越川信一市長や笹本博史産業観光部長と、銚子活性化等について意見交換。



銚子商工会議所で、宮内智会頭から銚子市の産業の現状と課題について意見交換。



JAちばみどり銚子支店では、菅谷善司支店長にお会いしました。銚子は農業も盛ん、中でもキャベツ栽培が有名です。



千葉科学大学は、市と連携して、銚子の地層や自然観察などのガイド、名付けて「銚子ジオパーク」ボランティアガイドの養成をおこなっています。その責任者である坂本尚史・千葉科学大学危機管理学部長をお訪ねし、銚子の自然資源の意義やガイド教育について意見交換。



鉄道ファンの山下ようこは銚子電鉄に乗車することも今回の目的の一つ。銚子駅から終点の外川駅まで全線を制覇。また、本社を訪問し、大田修作・経営戦略担当参与と銚子の魅力と活性化について意見交換しました。



今回の訪問の視点の一つは、醤油の魅力の追求。全国有数の醤油の町・銚子。日本の伝統の味、お醤油と農作物とのコラボレーションの進め方、そして健康長寿につながる和食文化の魅力求めて、銚子の誇る醤油会社を訪問しました。写真左はヤマサ醤油株式会社。工場の敷地内には、見学者向けに大きな醤油樽が。また、本社ロビーは環境に配慮し、屋内緑化にも力を入れている。滑川伸一庶務課長と意見交換。写真右はヒゲタ醤油株式会社。木戸秋進・執行役員、総務・システム部統括部長ならびに鶴月健志総務・庶務グループリーダーと意見交換。

■犬吠埼での自然観察

今回の訪問の大きな目的の一つは犬吠埼での自然観察。沿海部で親潮と黒潮がぶつかる銚子の犬吠埼帯は、ここを北限や南限とする植物も多数。植物観察の価値あり。また、潮風や塩分を含む砂地で生育する海岸線の植物は、湾岸で開催される東京オリンピック・パラリンピックの植栽においても、大いに参考になるのでは。そんな狙いで、訪ねました。



白垂の犬吠埼灯台。郵便ポストも白く、一体感を演出!!



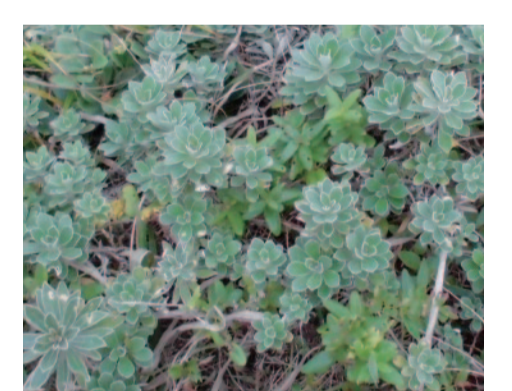
自然観察のガイドをしてくださる銚子ジオパークガイドさん達と待ち合わせした銚子電鉄・犬吠駅。駅舎も白く、灯台とおそろいです。



銚子ジオパークガイドの中でも、特に植物に精通した保立得造さん。海岸線の植物について丁寧に説明してくださいました。



白く細い花弁が特徴のセンニンソウ



葉の白覆輪(白い縁取り)が美しいイソギク



葉の真ん中に白いラインが入るハチジョウススキ



黄色い花のコマツヨイグサ



枝が横に広がる針葉樹、ハイネズ



南国特有の照葉樹(常緑の広葉樹)のタブ



こちらは、銚子ジオパークガイドの中でも、特に地層に詳しい江波戸正徳さん。眼下の岩場は、1億2000万年前の地層です。



ガイドの皆さんと記念撮影。左から保立さん、(山下ようこ)、石毛美子さん、江波戸さん、平野小夜子さん。ボランティアでのご説明、ありがとうございました。



この日、最後には日帰り温泉。温泉は自然の恵み。温泉療法等の活用にも取り組んでいる山下ようこにとって、ご当地の温泉は大事なポイント。露天風呂から眺める大海原は魅力的でした。

銚子の皆さん、ありがとうございました。